

2010年度 第3回 常任幹事会議事録

●日時
2010年11月27日(土)
15:00~17:00

●場所
阿佐ヶ谷美術専門学校 図書室

●出席者
秋元圭一〔会長〕
甲斐光省〔副会長〕
土橋洋一〔常任〕
三好耕之〔常任〕
西田一成〔常任〕
渡部征明〔常任〕
桜井裕美〔常任〕
大村政幸〔常任〕
浜村圭一〔常任〕
松岡和彦〔常任〕
小山弘〔常任〕
永吉昭浩〔常任〕

●委任欠席(代理人)
日野 高(秋元)
白石龍子
勝山昌幸
大野美菜子
富澤和治

常任出席者 12名
委任欠席者 5名
定足数成立

●議事進行
議長・進行:松岡和彦

●議事録
書記:久末静香

校正・制作・文責:
秋元圭一・大村政幸

■議題

- 1 第8回Asabi Bridge Seminarの報告と第9回予定確認
- 2 その他・意見交換
- 3 コラボ企画からの報告

■前回議事録の確認

議題2について疑問を持たれた方がいた為、後日事務局より問い合わせる事とした。

議題1 第8回Asabi Bridge Seminarの報告と第9回予定確認

●第8回の報告:参加数126名

(在校生39名、卒業生20名、幹事および委員14名、ASABIの先生・職員19名、一般34名)

●第9回の予定:講師:坪田潤氏 プロダクトデザイン科卒

日時:12月18日(土)14時~16時 講演後1時間交流会

○第8回について

「山崎監督のネームバリューで人数が多かったと思うので、これを基準に考えず気を引き締めたい」「機材の事前準備・確認が不十分だった」「内容は面白かった、一般の人が来ることは想定していなかった」「専門的な話で満足した方もいたと思うが、何名かの途中退場が気になったので、キャストの話で引っ張ってもよかったのではとも思う」「フェスタの中なので、普段と違う趣があった」「山崎監督には映画公開の前にも関わらず、十分な資料を提供して頂き感謝している」等の意見や感想が出た。

○セミナー全体に関して「セミナープロジェクト内で計画を立て、告知は早めに出した方がよい」「次回は割とニッチな部分なので、一般のデザイナーが集まることは少ないと思う。ターゲットを絞った声かけが必要では」「同窓会ニュースで告知するようになってからは、ベストとまではいかないが効率のよい集客方法になっている」「セミナーをただ開けばいいというものではなく、ワクワクするような企画があつてのセミナーが望ましい」「どんな人を呼んでほしいかのアンケートが必要では」「第1~9回までのデータをまとめてみるとよい」「講師にも聞く方にも何かプラスになる方法もあるので、それをみんなで検討していけるとよい」「普通、講演後に代表者が謝辞をするので、アサビブリッジセミナーでもやった方がよい。皆が出席してなんとなくパッとできてしまっているが、何かあつた時に問題が出そうなもろさを感じる。アンケート用紙に次回の告知を入れる等の戦略が必要」等の意見が交わされた。

○セミナープロジェクトの西田氏が、第8回までの参加申し込み者のメルアドを活用してよいかを問うと、秋元会長から「第7回のアンケートで[メルアドを頂いた方に案内メールが届く事があるのでご了解ください]と謳っていたので、案内を出していいというのが常任幹事内の共通認識と思っていた。現在あるセミナー用の名簿を第9回に活用してほしい」という事で、セミナー・プロジェクトから案内メールを出す事となった。

議題2 その他・意見交換

●同窓生・在校生支援委員会より報告。

今年度の卒業・終了制作展 日時:3月1~6日 11:30~19:00

会場:横浜 BankART 全科共同(研究科含む)

議題3 コラボ企画からの報告

●コラボ企画委員長の甲斐氏は、「参加者:込谷麻子、小檜山聡美、小池真由子、小山弘、小山ゆう子、甲斐光省(敬称略)で、卒業年代が数年ずれている方々をピックアップしてお話を伺った。イラスト出身の方が多かった」と述べ、会議で出た意見をいくつか報告した。

○イラストやマンガが得意なOBが多いので、作品をまとめて発表できるシステム作りはできないか。

○現在の常任幹事会は役員を各年度からまんべんなく抽出、構成する方向だが、活気のある人たちの多い年度の人達を集めて話し合いの場を持ち、何か企画を立ててもらってはどうか。

○学生とアサビ同窓会との関わりを密にして就職活動につなげたい。学生の就職をスムーズにしてあげないと、同窓会の活動にも参加するゆとりが出ない。アサビの講師として就職面接に関する授業を担当している込谷さんからは「是非先輩の会社見学やインターンシップを充実させたい。その為にも同窓会の名簿をもっと、学生も含め、活用できるようにしてほしい」という要望が出た。

●就職に関する話の流れの中で「OBの中にも学校に興味がある方もいると思うので、急いで結果を求めるのではなく、例えば学校と連携し、授業の邪魔にならない程度の時間で、授業見学の後にOBと学生が接点を持てるような場を設けるといった事も可能ではないだろうか」等の案が話し合われた。

●名簿活用に関して秋元会長は「直接的に同窓会が就職を応援するわけではないが、間接的に役立ちたいと思う。学校の情報がどのように整理されているか同窓会は把握していないので、名簿の活用として、例えば学生が同窓会名簿を検索して使える等のようにするには、まず学校と情報・意見交換をし、情報の整理をする必要がある」と述べた。

■会則検討委員会の甲斐氏から「会則に関して改定中の案があり、まとまり次第提出する」と報告した。

■事務局より、次回日程:2011年1月29日(土)の15:00~17:00との予定が告げられ、議会は閉会した。